

まとめると

- 今後2～3年で IPv6 の本格普及が必要
 - これがユーザーが実際に IPv6 を利用できるようにするために必要
- 実際にユーザーが IPv6 を利用できないような IPv6 の広範な普及を避けるには、IPv6 を使うユーザーを増やすことが求められる。
 - これが IPv6 の本格普及のために必要な唯一の方法
 - 2桁台の IPv6 利用率が必要
- 一つの解決策
 - IPv6 を本格的に普及させるため、既存のオプションをわずかに変更
 - できるかぎり広範囲にこの解決策を普及させる
- 進捗を評価できるように設定することが大切
 - Google は求められれば、「数値目標*」の設定に必要なデータを提供可
 - これ以外の提案に同意いただけない場合であっても、この提案は受け入れていただきたい。

* 数値目標というのは政府の目標ではなく、業界にとってのゴールを意味する。これはWorld IPv6 Day における参加ウェブサイトが24時間 IPv6 を有効化するというゴールや、World IPv6 Launch における参加 ISP のトラフィックの1%を IPv6 とするというゴールと同様。(これは研究会での議論を踏まえて弊社の立場を明らかにするために事後に加えたコメントです。)